

未来に向けて

第2次島田市総合計画は、平成30年度から令和7年度までの8年間の計画です。
近未来だけを考えるのではなく、次の世代に素晴らしい島田市をつなげていくことも、
現在を生きる私たちの役目です。

10年先20年先の島田市のために、8年間の計画期間に留まらない、長期的な視点が大切なのです。

私たちの大好きな島田市を次の世代につなげましょう。

未来につなぐ3大戦略

日本国内においては、人口減少や少子高齢化が進行しています。さらには、新型コロナウイルス感染症の流行や地球温暖化を起因とした気候変動などは、地球規模での対応が求められています。

このような中でも、豊かで持続可能な社会をつくり、島田市を次の世代につなげるため、総合計画の計画期間には留まらない長期的な視点に立った、市民・事業者・行政と一緒に考え、行動するための指針「未来につなぐ3大戦略」を定めます。

1. 循環型社会

2. 縮充

3. DX

イラスト

1. 循環型社会

今あるものを大切に、豊かなまちであり続けます

ペットボトルのような回収資源だけでなく、空き家や公共施設などのまちのストック、さらには当市の誇る自然や歴史、文化に至るまですべてはこのまちの資源です。今ある資源を大切に循環させて使い続けることで、まちの持続的な発展を図ります。

(取り組みの方針)

- ① エネルギーの地産地消・省エネを推進します。
- ② 可能な限り資源を地域内で循環させることで経済の好循環を生み出します。
- ③ 再生産可能な資源である木材の積極的な活用を推進し、「育て・使い・また育てる」の林業のサイクルを回していきます。
- ④ 空き家や公共施設などのまちのストックを有効に活用し、まちの活力につなげます。
- ⑤ 歴史や文化といったこのまちの誇る地域資源を未来に残していきます。

2. 縮 充

選択と集中で、暮らしの満足度を高めます

人口減少が進むことにより、投資できる財(ヒト・カネ)はだんだんと限られてきます。そのような中にあっても、真に必要な施策・事業に資源を集中させ、「量」から「質」への転換を図ることで、このまちに暮らす市民の満足度を高めます。

(取り組みの方針)

- ① 当市の特徴を磨き上げ、個性あるオンリーワンのまちを目指します。
- ② 拠点に集まり効率的に豊かに暮らす「コンパクト・プラス・ネットワーク」の考え方に基づいたまちづくりを進めます。
- ③ 行政経営の効率化を進めるために、市民・事業者との対話を踏まえ、事業のスクラップ&ビルドを行います。

3. D X

デジタルの力で、暮らしを便利に変えていきます

デジタル変革宣言で掲げた「市民サービス」、「地域・産業」、「行政経営」の各分野において、デジタルシフトを進めることで、「誰もがデジタル技術を活用し、安心して快適に暮らせる新しい社会」をつくります。

(取り組みの方針)

- ① 行政サービス、教育分野、医療分野などにおいてデジタル技術を活用し、市民生活の利便性を向上します。
- ② 誰もがデジタルの恩恵を受けられるように、世代や地域の格差の解消を図ります。
- ③ 商工業や農業、観光などあらゆる分野の産業DXを支援します。
- ④ 業務のデジタル化の推進や多様なデータを活用した市民サービスの提供など行政経営をスマートにします。